

PHASS RE series power amplifier

RE 50 Instruction Manual

取扱説明書



Making Music Sound Real - PHASS

株式会社エフティートレーディング
395-0002長野県飯田市上郷飯沼1868-1
Tel:0265-23-5221 Fax:03-6740-6517

PHASS RE 50 Stereo Amplifier 取扱説明書

このたびは、ファス・アンプをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
安全にお使いいただくために、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、きめられた方法に従いご使用ください。また、ご使用中に不具合や、わからないことがあった場合のためにこの取扱説明書は取り出しやすい場所に保存してください。

次ページにある「安全にお使いいただくためのご注意」は、お客様や車両に被害が及ぶことを未然に防ぐためにたいへん重要です。必ずお読みください。

目 次

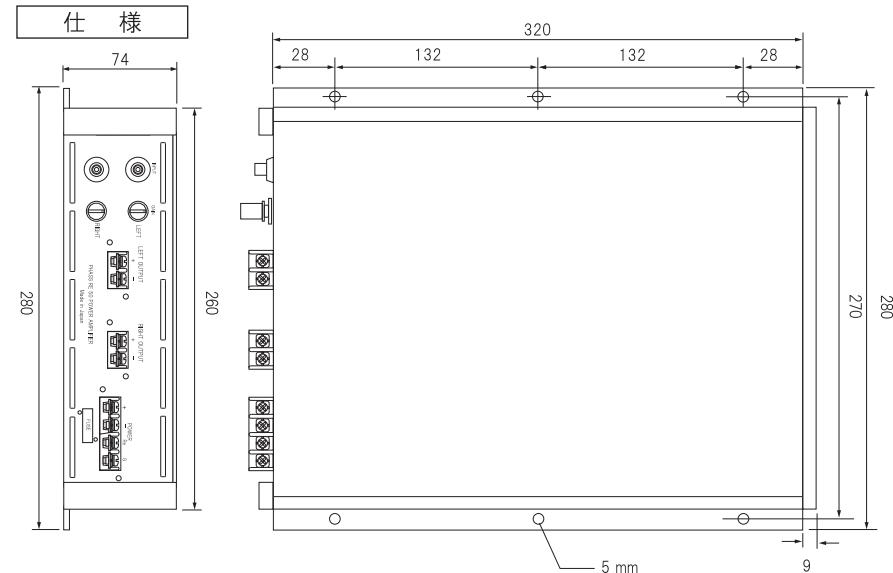
安全にお使いいただくためのご注意	2
接続とコントロール	3-4
システム・コネクション	5
仕様	6

保証について

このアンプの保証期間はお買い上げ日から2年間です。
別添の保証書にお買い上げ日、お買い上げ店名が記入されているかご確認ください。
記入のない場合は、無効になることがあります。
保証書期間内に発生した自然故障は、無償にて修理させていただきます。必ず保証書を添付の上、購入された販売店または弊社までお申し付け下さい。保証書の添付がない場合は有償修理とさせていただきます。
尚、取り付け、取り扱いに不備があった場合や、使用方法に誤りがあった場合、また他の機器によってもたらされた故障、自然災害による故障などは、保証の対象にはなりません。詳しくは保証書をご覧ください。

取り付けについて

本製品の取り付けは、配線等に専門技術が必要です。お客様ご自身による取付は安全上おすすめできません。お買い上げの販売店にご依頼ください。



- 定格出力 $2 \times 50\text{ W} / 1\text{ KHz} \cdot 10\Omega$
- 消費電流 無信号時 3A・待機時 2mA
- ヒューズ容量 15 A
- 入力インピーダンス $> 10\text{K}\Omega$
- 入力感度 0.22 V ~
- 適応負荷 4Ω 以上
- サイズ (W*H*D) 329*74*280 mm (端子類を含まず)
- 重量 9.5 kg

アンプが故障した場合は

直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店までご持参のうえ、修理をご依頼ください。
ご自身で修理されたり、そのまま使用を続けると、修理範囲を広げたり、車両に被害が及ぶことがありますのでご注意ください。

お手入れ方法

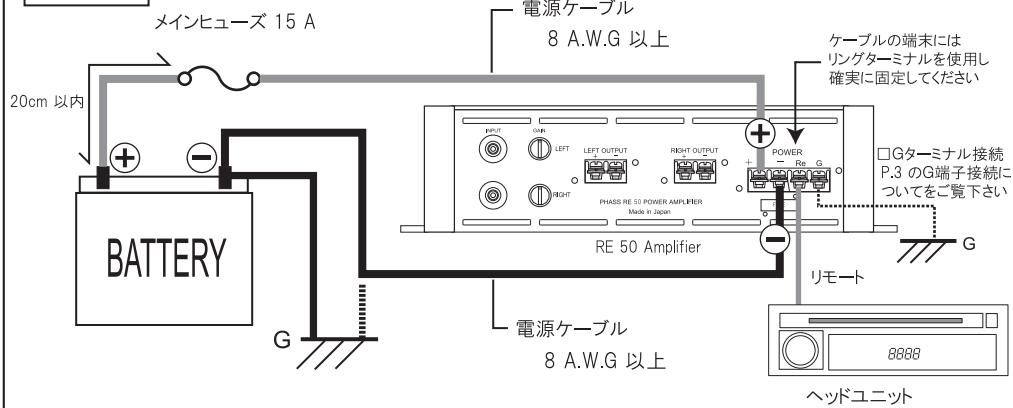
本体の清掃は乾いた柔らかい布で行ってください。汚れが著しい場合はアルコールを乾いた布にしみ込ませ、汚れを落としてください。
ターミナル部へ接点復活剤を使用する場合は、復活剤の注意書をよく読んでから塗布してください。ターミナルのプラスチック部分を損傷(溶解)する場合があります。

ケーブル & アクセサリー

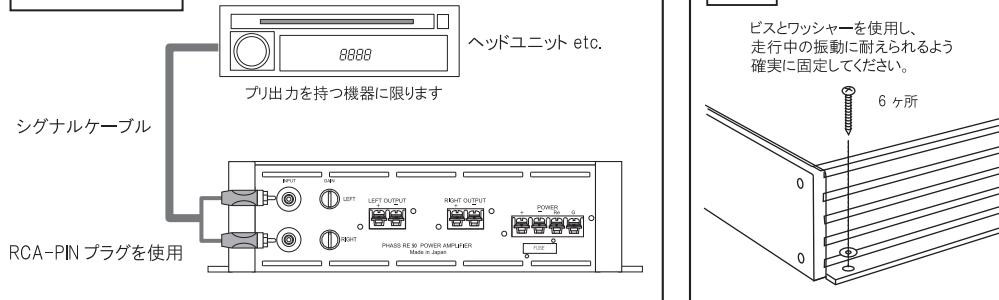
スピーカー・シグナル・電源ケーブルや RCA-PIN プラグは、音質に大きな影響を与えます。良質なファス製品をご利用ください。ファスでは各種ケーブルや RCA-PIN プラグをご用意しています。

RE 50 SYSTEM CONNECTIONS

電源接続



シグナル接続

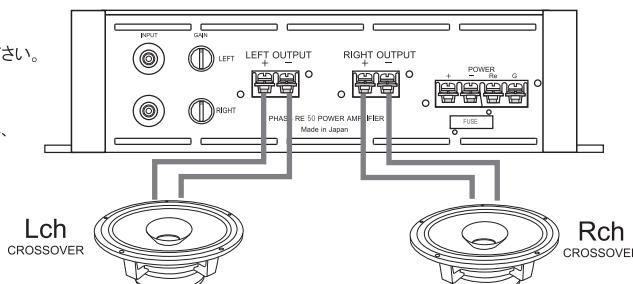


スピーカー接続例

□極性表示 (+/-) に従って接続してください。

□本機はプリッジ・モノ接続はできません。

□ケーブルの端末にはリングターミナルを使用し、確実に固定してください。



安全にお使いいただくためのご注意 警告！

下記の安全上の注意を守らず、誤った取り付けや取り扱いをすると、製品の損傷ばかりか、火災など車両の損害を招いたり、人が死亡したり、傷害を負う恐れがあります。必ずきめられた方法を守り、正しい取り付けと取り扱いをしてください。

取り付け・電源供給接続

1. 取付作業時は、感電やショートを防ぐため、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。
2. このアンプは 12V バッテリー車にのみご使用いただけます。24V 車にはそのままで接続、ご使用になれません。
3. アンプへの電源供給(プラス+)は車両のアクセサリー電源を使用しないでください。下記の表Aから、お手持ちのアンプに適合する専用の車両用(耐熱性、耐候性のある)電源ケーブルを選択の上、バッテリーのプラス電極にリングターミナル等を使用して確実に接続してください。また、ケーブルの挟みこみや皮膜に破れないか充分確認してください。
4. 電源ケーブル(プラス+)には必ず、下記の表Bからお手持ちのアンプに適合するヒューズを選択の上、設置してください。ヒューズは必ず車両バッテリーの近く(20cm 以内)に設置してください。ヒューズは必ずきめられた容量のものを使用してください。
5. 誤接続を防ぐため、プラス電源は赤色、マイナス電源は黒色のケーブルを使用してください。
6. 電源ケーブルのアンプへの接続は、極性をよく確認し、付属のリングターミナルを使用して確実に固定してください。

A 電源ケーブルサイズ ケーブル長 4 ~ 5m

ケーブルサイズ	mm	AWG
6		8 以上

B ヒューズ容量

機種	容量
RE 50	15 A

設置場所について

1. アンプは、車両シャシーと電気的に絶縁されたアンプボード等へ、車両走行中の振動等に耐えられるよう、確実に固定してください。
2. 必ず、運転の妨げにならない、乾燥した通気性の良い場所に設置してください。
3. このアンプは車載用です。車両以外(家庭内、船舶など)ではご使用になれません。ご使用にあたって
 1. 安全運転のために、外部交通ノイズが聞こえる音量レベルでお使いください。
 2. バッテリー上がりを防ぐため、エンジンをかけてご使用ください。
 3. お客様によるアンプの分解、改造はおやめください。
 4. 万一アンプに故障が発生したり、水がかかったりした場合は、ただちに使用を中止し、修理をご依頼ください。

接続とコントロール

■アンプの設置時には、車両バッテリーのマイナスターミナルを取り外してから作業を行ってください。取付が終了した後、電源配線の誤接続がないかよく確認した上で、バッテリーのマイナスターミナルを接続します。

1. シグナルケーブルの接続

CD プレイヤー、ラジオカセット、エレクトロニッククロスオーバーなどからのプリ出力された信号を RCA-PIN プラグを使い、アンプの INPUT 部へ左右チャンネルを確認し入力します。プリ出力を持たない機器(スピーカー出力のみの)の接続はできません。

2. スピーカーケーブルの接続

アンプの OUTPUT(RIGHT= 右 / LEFT= 左)ターミナルに、スピーカーケーブルを極性表示 (+/-) と左右チャンネルを確認し、それぞれ接続します。尚、本機はブリッジモノ接続はできません。スピーカーインピーダンスは 4 Ω 以上になるよう接続して下さい。

3. 電源接続

A. プラス電源

アンプ電源供給ターミナルの「 + 」へ、車両バッテリー プラス(+)ターミナルから 20cm 以内にメインヒューズを設置したパワー・アンプ専用に配線された電源ケーブル(赤色・8AWG 以上)を接続します。

B. マイナス電源

アンプ電源供給ターミナルの「 - 」と車両シャシーあるいは、バッテリーマイナス(-)ターミナルを電源ケーブル(黒色・8AWG 以上)で接続します。

C. リモート電源

アンプ電源供給ターミナルの「 Re 」へ、ヘッドユニットからのリモート出力を接続します。ヘッドユニットのオン・オフによりアンプ電源のオン・オフが行われます。

D.G 端子 (GROUND) について

アンプ筐体のシャシーグラウンド。通常は使用しません。

ノイズが発生する場合に、車体と G ターミナルを接続してください。改善が見られる場合があります。

* 電源ラインにキャパシターを装着される場合は次の点にご注意下さい。

アンプから電源ケーブルを取り外す際は、必ずキャパシターを完全に放電させるか、車体と G ターミナルの接続を切り離してから作業を行ってください。

4. ヒューズ

アンプに過電流が生じた場合や故障が発生した場合にヒューズが溶断し回路を保護します。ヒューズが溶断した場合は、配線等に異常がないかよく確認した上で、必ず同容量のものと交換してください。繰り返しヒューズが溶断する場合はアンプの故障が考えられます。ただちに使用を中止しあるいは販売店にご相談ください。

アンプに内蔵されているヒューズは、アンプを保護するためのものです。電源配線の安全を確保するために必ずバッテリーから 20cm 以内にメインヒューズを設置してください。

5. ゲイン調整

ヘッドユニットからの入力レベル・コントロールを左右チャンネルそれぞれに行います。

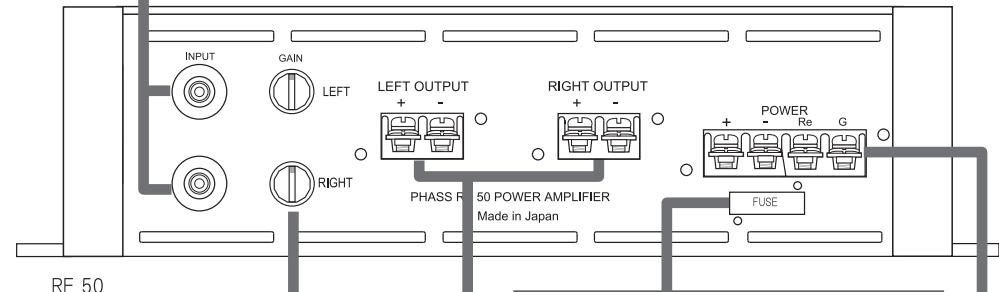
ゲイン調整の手順:

- ・アンプ側のレベルを 1/2 以下にし、ヘッドユニットのボリュームを徐々に上げてください。
- ・ヘッドユニット・ボリュームの通常使用する範囲(位置)において歪みが発生する場合は、アンプの入力レベルを下げてください。
- ・ヘッドユニット・ボリュームの通常使用する範囲(位置)で音量が充分でない場合は、アンプの入力レベルを徐々に上げてください。

注意:歪みが発生する状態で使用を続けるとスピーカーを破損しますのでご注意ください。

注意:前ページの「接続とコントロール」をよく読んだ上で接続、コントロールを行ってください。

□ INPUT プリ出力された信号を PIN プラグを使い入力します。



□ GAIN
入力レベル・コントロール。左右チャンネルのレベルコントロールを行います。

□ スピーカー出力ターミナル
スピーカー出力。極性表示に従って、接続してください。本機はブリッジ接続はできません。

□ FUSE
アンプに過電流が生じた場合溶断し、回路を保護します。
ヒューズが溶断した場合は、配線等に異常がないかよく確認した上で、同容量(15A)のものと交換してください。

□ 電源供給ターミナル(+・-)
アンプへの電源供給のための接続。
極性表示に従って、正確に接続してください。

□ Re (リモート)
ヘッドユニットなどからのターンオン・コントロールを入力してください。

□ G (グラウンド)
アンプ筐体のシャシーグラウンド。通常は使用しません。ノイズが発生する場合に車体と G ターミナルを接続してください。
改善が見られる場合があります。

* キャパシターが装着されている電源ケーブルをアンプから取り外す際には、必ずキャパシターを完全に放電させるか、車体と G ターミナルの接続を切り離してから作業を行ってください。

ご注意:
車両には様々なノイズ発生源が存在しています。配線は車両ハーネスやコンピューター類などから遠ざけて行ってください。
また、電源系と信号系のケーブルはなるべく離して配線してください。